

# ほつ 図書館

## 新刊紹介

今回の新刊はこちら！  
気になる本はあったかな？

9号  
令和 2 (2020) 年7月  
船橋市西図書館 YA 担当



### 『秘密の花園でお茶を』

安東あや / 著 ポプラ社 YF アア

優等生の英美里は誰にも言えない悩みを抱えていた。そんな英美里に声を掛けてきたのは同級生の男子。彼に連れられて訪れたのは、美しい庭をもつカフェだった。相手のことを考えすぎて、自分の気持ちがわからなくなることがあります。花々に包まれた気持ちになって一歩すすむきっかけをもらえるお話です。



### 『ネコばあさんの家に魔女が来た』

赤坂パトリシア / 著  
KADOKAWA YF アハ

過干渉な母親に悩む女子高生ユキノは、日常の息苦しさから不登校になり、ごはんも満足に食べられない。そんなとき、「魔女の大人たち」と出会い、彼女らの作る料理を食べて、少しずつ心を開いていき……。あたたかい魔女たちのやさしさと、成長するユキノの姿に、前向きな気持ちをもたらえます。巻末には、作中で出てくる料理のレシピが載ってるよ！



### 『ぼくたちがギンターを殺そうとした日』

ヘルマン・シュルツ / 作 渡辺広佐 / 訳 徳間書店 Y943 シ

ある日、フレディと仲間たちは難民の子ギンターをうつつうがついでいじめてしまった。大人にばれるのを恐れたリーダーが「あいつを殺そう」と言い出して……。舞台は第二次大戦後ですが、やめたいけどどうしたらいいかわからないフレディの気持ちは、現代にも通じますよね。その日フレディたちに何が起きたのか、ぜひ皆さんの目で確かめてみて。



# 特集

## 「ある日、森のなか」

清々しい森、ちょっと不気味な森、生きものたちが集まる森  
どんな姿が見たいですか？

『まよいが えほん遠野物語』  
柳田国男／原作 京極夏彦／文  
近藤薫美子／絵  
汐文社 Y382 エ

妖怪とか、怪異とかって、気になりますよね。  
『まよいが』というのは、岩手県の遠野に伝わる、山中の不思議な家のこと。その家を見つけた人は、食器や家畜、何でもいりから持って来ること、それを持ってきたら…。

この絵本は、柳田国男が書いた『遠野物語』を、京極夏彦がリライトしたものです。色えんぴつで描いたようなイラストも魅力的。私は米びつのシーンが好き！この本を見て、もっと読みたいと思った方は原作もぜひ。



『きげんのいいリス』  
トーン・テレヘン／著 長山さき／訳  
新潮社 Y949 テ

『ほとんどみんなひっくり返れた』この本の原題の直訳です。一体なにがひっくり返ったのか？は最初のお話でわかりますよ。リスが主人公で、森の動物たちとの日々の出来事が書かれた短編集。ゆるっとした不思議な雰囲気がかゆになります。深く考えずにお話を楽しみたいときにオススメ！シリーズの『ハリネズミの願い』もどうぞ。



『神去なあなあ日常』  
三浦しをん／著  
徳間書店 YF ミシ

森と林と山の違いってなんでしょ？調べてみるとおもしろいかなと思います。これは、山で働く人と関わり、山を育てることで成長していく、平野勇氣(18)の物語です。林業って、木を切っているイメージですが、木を切るだけではなく、育てることも大事なんですね😊 神去村の住人

の口癖『なあなあ』(まあ落ち着け)のようなゆったりとした日常と、山の恐ろしさがわかる事件、盛りだくさんの出来事を読んで体験してみよう！



『魔法使いたちの料理帳』  
オーレリア・ポーポミエ／著  
田中裕子／訳  
原書房 Y596 マ

魔女とか魔法使って森に住んでいる感じがしませんか？人を避けて生きている…みたいなの。しかも、虫とか、よくわからない草とか、食べてそう。でも大丈夫、この本に載っているのは、とってもおいしそ



うな、しかもおしゃれな🍷お料理やスイーツです！簡単にできるスープも載っているから、魔法使いになったつもりで作ってみよう。

## 〈次回特集〉

## 音楽

## 『昆虫部』

梶本孝思 / 著

幻冬舎 YF スタ

たった二人の昆虫部。そこに顔を出すようになったのが、『人生はタイクツだ』と友達をつくらずに一人で学校生活を過ごす小栗颯太郎。部員にはならないのに、居心地のよさについ立ち寄ってしまう。昆虫大好きな部長のため、文化祭で他の文化部と協力して昆虫を題材にしたテーマパークを開催することに！



登場人物が一律に『好きじゃない』『興味がない』と言う昆虫。その生態は動物とあまりにも違っていてももしろいんですよ。まずは知ることから始めてみよう！

## 『桜の森の満開の下』

坂口安吾 / 著

立東舎 YF サア

図書館で働いていると、好きな本の話になることがあります。これは以前、『このお話が好きで、読むたびに泣いてしまう。』と言われて読んだ作品。私は泣くことはありませんが、このお話を読むと胸が苦しくなります。美しいものを見たときの、心臓を掴まれたように苦しくなるあの感じ。皆さんはこの物語に何を感じるでしょうか。今読んでもいいですが、桜が美しく咲くころに、もう一度手に取って読んでください。



## 『眠れる森の美女』

シャルル・ペロー / 著 村松潔 / 訳

新潮社 Y953 へ

『眠れる森の美女』はいくつかバリエーションがあり、一番有名なのはグリム版です。誕生祝いのパーティーに呼ばれなかった魔法使いが王女に呪いをかけ、100年の眠りののち王子のキスで目が覚めるお話。ペロー版は、その続きがあります。

実は王子には秘密があり、王女と二人の子どもの命に危険が…！最後に載っているペローからの『教訓』もおもしろいです。



## 『植物はなぜ動かないのか』

稲垣栄洋 / 著

筑摩書房 Y471 シ

植物がなぜ動かないか…?!考えたこと、たぶん無いのではと思います。答えは簡単、『動なくても生きていけるから。』自分で栄養を作り出すことができるなんて、植物って実はすごいんだなあって気づきました。😊人間や

動物たちも生き残るために様々な努力をしています。植物も結構がんばっています。あの手この手の生存戦略、たくましく生きる参考になるかも！





## 〇〇写真館 第2回

### 夏をかんじる写真館



今回は、“映え”を意識した夏らしさのある写真をお届けします。

このかき氷、大行列で、お店に入るまでに1時間以上もかかったんです！氷はふわっふわ、シロップは果肉がごろごろ・・・。



並んだ価値、ありました（^^）



ハワイのビーチで撮った写真たち



／さや／味



今年の夏は、海や花火大会、お祭りなど、例年通りにはいかなことが予想されます。こういうときこそ、自分なりの夏のたのしみ方をさがして、これまでとは違った新しい夏の風物詩をみつけてみよう。

## フォローよろしくね!!

Twitter

スマホ

携帯



図書館の情報は、ホームページだけじゃなく、Twitter や Facebook でもわかるよ！  
学習スペースの空き状況など、お得な情報も確認できるので、ぜひフォローしてみてね。  
※現在、座席を半分ほどにしています。ご利用の際はご注意ください。

発行 船橋市西図書館（YA担当）  
電話 047 (431) 4385

## YA 担当より

新型コロナウイルスの影響で、学校が休校になったり、仕事がテレワーク中心になったり、日常生活のあり方が「ステイホーム」中心になりましたが、皆さんはどんなふうにおうちじかんを楽しんでいますか？テレビを見たり、ゲームをしたり、スマホをいじったり……。その中に、「読書」も加わると嬉しいな。

西図書館では、7月から YA コーナーのコミュニケーションボードが復活しました！人との直接的な会話がなかなか難しい今、安心・安全なコミュニケーションツールとして活用できると思うので、ぜひ参加してみてね（^v^）

